



まちづくりレポート



〒238-0011 神奈川県横須賀市米が浜通 1-3 電話/FAX 046-823-1211

市議 小室たかえ

いつから? どんな?

中学校給食

中学校給食をとりまく現状

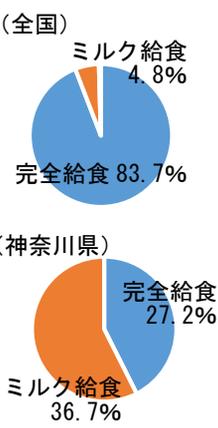
横須賀市は、市立小学校では完全給食（主食+おかず+牛乳）を実施していますが、中学校ではミルク給食（牛乳のみを給食として提供、生徒は弁当を持参）です。

女性の就業率が上がるとともに、お弁当作りが負担との声も増え、市が2015年に実施したアンケートによると、中学生保護者の69%が負担と答えています。

加えて、*食育を進める観点や、7人に1人といわれる*子どもの貧困という社会的な課題に対応する必要から、市は昨年の総合教育会議で中学校完全給食の実施を決定、具体的な検討が進んでいます。

文科省の2016年度調査によると、完全給食を実施している国公立立中学校は、全国で83%です。都道府県別の公立中の実施状況で

中学校給食実施率



衆院選

10月22日に行われた衆院選で、ネット・横須賀は、立憲民主党、社会民主党を応援しました。選挙区内においては両党からの立候補はありませんでしたが、立憲主義、

実施に向けて検討が進んでいます



は、神奈川県は27%と低い状況です。が、近隣他市では2015年以降、逗子市・鎌倉市が選択・予約制のランチボックス方式で、川崎市が食缶方式（小学校給食で行われている、食缶から配膳するやり方）で実施を始めています。

*食育とは? (食育基本法より)：(1)生きる上での基本であって、知育、徳育及び体育の基礎となるべきもの。(2)様々な経験を通じて「食」に関する知識と「食」を選択する力を習得し、健全な食生活を実践することが出来る人間を育てること。

*子どもの貧困とは? (日本財団HPから)：相対的貧困の状態にある18歳未満の子どもの割合。国民を可処分所得順に並べ、真ん中の人の半分以下しか所得がない状態を相対的貧困と呼ぶ。

横須賀市の目指す

中学校給食は

全員喫食の完全給食を食缶方式で実施します。

調理は、給食センターで行います。小学校では、各校設置の給食室で調理されていますが、中学校敷地内に給食室を建てられないという

平和政策の視点で共感できるものと判断しました。比例区においては北関東ブロックで、立憲民主党の「大河原まさこ」さん(地域政党「東京生活者ネット」出身の元職)が当選しました。

調査結果と、センター1か所から各校に配送する方式は全校一斉に給食実施が可能とのことから決定となりました。旧平作小学校跡地に建設予定です。

中学校給食の実施に向けた検討は、市議会に設置された「中学校完全給食実施等検討特別委員会」、市役所内検討組織としての「中学校完全給食推進本部」、教職員・保護者・教育委員会事務局で構成する「中学校完全給食推進連絡協議会」で行われています。

望ましい昼食のあり方

教育委員会のまとめた「中学校の昼食のあり方について」

では「望ましい昼食のあり方」として、

- 1 生徒が適切な栄養を摂取できる
- 2 昼食を「生きた教材」として活用し、学

校における食育を推進できる

3 生徒が楽しく食事をすることができ、としています。

これを達成するためには、食材においては安全性(農薬、添加物、遺伝子組み換え、放射能)、アレルギー対応、地場産品の使用についての基準はどうするのか、また、食器の材質、食器洗浄剤の安全性と環境負荷についても考慮すべきです。そして、生徒のための豊かな給食であるために、喫食時間をしっかりと確保することは重要です。何よりも、給食が、子どもの育ちという権利擁護と、教育の機会均等という側面があることを踏まえ、検討を進めていくべきでしょう。

県内市の中学校給食実施状況

	完	ミ	他
横浜市			○
川崎市	○		
相模原市	ラ		
横須賀市		○	
鎌倉市	ラ		
逗子市	ラ		
三浦市	○		
厚木市	○		
大和市	○		
海老名市	ラ		
座間市	ラ		
綾瀬市	○		
藤沢市	ラ		
平塚市		○	
茅ヶ崎市		○	
秦野市		○	
伊勢原市		○	○
小田原市	○		
南足柄市	○		

完：完全給食
(ラ=ランチボックス)
ミ：ミルク給食
他：配達弁当

視察報告

府中市学校給食センター

府中市学校給食センターは、全小中学校22,000食を提供する国内最大規模の学校給食センターで、今年9月に稼働を始めました。内部は、小学校給食調理場と中学校給食調理場に別れており、それぞれがさらに、泥落とし室、野菜下処理室、野菜上処理室、焼・揚調理室、煮炊調理室、和え物室に分かれています。その他に、炊飯室、アレルギー対応専用調理室、洗浄室があります。配送車は、①食器を運ぶ②給食を運ぶ③食缶と食器を回収、の一日3往復。手指洗浄やエアシャワーを体験コーナーで体験。手術室に向かう医師になった気分です。

2階の見学通路から1階の調理場を見学しましたが、給食センターは給食工場だという事実を再確認しました。栄養面、衛生面では絶対に優れているのは明らかですし、出汁やスープも素材から取っているのだと思います。試食もしました。でも、やはり、家庭で作る「ごはん」とは同じものではないという印象。給食には、何ができて何ができないのか。食べることを意味をあらためて考えさせられた視察となりました。(小室たかえ)

♪ 政治サロン ♪

1月11日(木) 10時~12時
ネット・横須賀事務所(米が浜通)にて
ご相談、意見交換等もどうぞ。
お気軽にご参加下さい。



—おおぜいの市民で政治を変える！ 企業団体献金も政党助成金もありません！—

神奈川ネットワーク運動は、生活の中から見えてきた課題を、政治家や役所に任せきりにせず、市民主体で解決を図る、「市民社会」をめざす地域政党です。県下には16の自治体に26の地域ネットがあり、県・市議会に15人の女性議員がいます。新会員(年会費1,000円)、「まちしほ」ポスティングボランティア、カンパ、随時募集しています。—カンパ口座 神奈川ネットワーク運動・横須賀 横浜銀行横須賀支店 541-1834959—

◆選挙はカンパとボランティア ◆活動費は会費と市民の寄付 ◆身近な問題はミニフォーラムで解決 ◆議員は2期8年で交替